

成績評価基準

通常の評価基準

出席率、授業態度（取組姿勢）、レポート並びに課題の提出、授業の習熟度を総合的に勘案し、4段階評価『A：100～80点、B：79～70点、C：69～60点、D：59～0』をもとに、ABC評価を合格、D評価を不合格とする。

また、評価の配点は以下の通りとする。

- 取組姿勢：40点（学習に対する取組姿勢）
- 課題：30点（課題提出、提出期限の厳守）
- 習熟度：30点（到達目標に対する成長具合や習熟度）
- ◇出席：別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づく
- ◇合否：60点以上で合格

出席率	定期試験	成績評価	合否	進級・卒業判定
66.7%以上	100～80点	A	合格	各年次 57単位以上 を修得した者
	79～70点	B		
	69～60点	C		
	59～0点	D	不合格	

（注）規定の出席率を満たし、A～C評価の場合、単位認定される。

（GPA制度※による評価基準）

通常の成績評価と同様、出席率、授業態度（取組姿勢）、レポート並びに課題の提出、授業の習熟度を総合的に勘案し、科目毎の評価点数を4.0から0までの点数（GP＝グレード・ポイント）に置き換え、単位数をかけ、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均値を算出する。

出席率	評価点数	GP	合否
66.7%以上	100～90点	4.0	合格
	89～80点	3.0	
	79～70点	2.0	
	69～60点	1.0	
	59～0点	0.0	不合格

（注）規定の出席率を満たし、GPポイントが付与された場合は単位認定され（合格）、0Pの場合は単位認定されない（不合格）。

（注）点数評価ではなく単位認定のみされる科目は、GPA評価対象外となる。
（例：海外実学研修、学友会活動 など）

（※）GPA制度の詳細は、学生便覧「試験規定別表1」を参照のこと。